



研究キーワード

モデリング, 可視化, シミュレーション, ビジネスモデル

染谷 治志

教授

SOMEYA, Harushi

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科経営学専攻

<https://sites.google.com/view/someyalaboratory2022/>

someya@kankyo-u.ac.jp

Profile

Research

Data

経営学部

■ **主な担当科目** 経営情報論, 経営情報システム, 情報産業論

■ 研究者略歴

1984 (昭和59) 年 3月	早稲田大学理工学部電気工学科卒業
1986 (昭和61) 年 3月	早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修了, 修士 (工学)
1986 (昭和61) 年 4月	(株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～1993年2月)
1993 (平成 5) 年 3月	(株) 日立製作所コンピュータ事業部製品企画本部勤務 (～1995年2月)
1995 (平成 7) 年 3月	(株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～2009年3月)
2006 (平成18) 年 3月	早稲田大学大学院情報生産システム研究科情報生産システム工学専攻修了, 博士 (工学)
2007 (平成19) 年10月	早稲田大学大学院情報生産システム研究センター非常勤客員講師 (～2009年3月)
2009 (平成21) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授
2010 (平成22) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻教授

■ **取得学位** 博士 (工学)

■ **専門分野** 情報システム学, システム工学

■ **現在の研究テーマ**

- ・ Smart Information Systems :
環境の中のコンピュータの方から人間にアクセスを試み, 所望の情報を提供したり, 状況に応じてアドバイスしたりするなど, 人間の状況を的確に理解し, 最適な情報環境を提供するシステムの創造研究 (人の生活習慣を可視化し, 病気の兆候発見など生活環境をサポートするライフログ応用, 「環境がユーザをナビゲーションする」実世界コンテンツとデジタルコンテンツの融合など)
- ・ Socio-information Systems :
ダイナミックで複雑な社会や経営の問題に対して, さまざまな要素の繋がりを「システム」として捉え, その構造の全体像を俯瞰し, 挙動を分析・理解して, よりよい社会システムにする改善策や新たなシステムの創造研究 (ビジネスモデルの分析・デザイン, 人間行動のダイナミクスのビジネスプロセスへの応用, 地域生活情報や観光情報などの地域知の発見と利活用など)

■ **所属学会** 電子情報通信学会, 情報処理学会, 情報システム学会

■ 研究等活動

※2012年4月以降の活動成果

【講演】

・「人工知能(AI)はビジネスをどう変える?」, はりま産学交流会創造例会, 17 Jun. 2016

【論文】

- ・「AR学内案内アプリの試作」(共著), 2020年度電気・情報関連学会中国支部連合大会, R20-25-02-05, 24 Oct. 2020
- ・「科目履修登録支援システムの開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・「Smart Door Plateの開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・「大学現況情報提供システム「TUESnow」の開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012

【ビジネスコンテスト】

・「もみじの天ぷらを大阪名物に!」, 大学生観光まちづくりコンテスト2015(大阪ステージ)ポスターセッション選出, 18 Sep. 2015

■ 社会貢献活動

【学会および社会活動】

- ・2022年10月: 公立鳥取環境大学公開講座2022 「AI (人工知能) とうまく付き合っていくために」 (於: 米子)
- ・2022年2月: 鳥取県産業振興機構ソーシャルイノベーションデザイナー (SLD) 育成プログラム検討に係るワーキンググループ構成員 (現在に至る)
- ・2018年12月: 鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会委員 (至: 2019年3月)
- ・2018年6月: 電子情報通信学会ソフトウェアインタプライズモデリング研究専門委員会委員 (現在に至る)
- ・2016年6月: 平成28年度県立高校・大学教員交流事業 特別講義 (サイエンスゼミ) 「体験! 経営シミュレーション」 (於: 鳥取県立鳥取東高等学校)
- ・2016年6月: 公立鳥取環境大学公開講座2016 「暮らしの未来とICT-ICT端末の新形態」 (於: 鳥取)
- ・2015年5月: 電気学会人と調和する支援技術の実現化協同研究委員会委員 (至: 2018年3月)
- ・2012年11月: 電気学会人間の豊かな活動支援技術の実現化協同研究委員会委員 (至: 2015年3月)
- ・2011年5月: 鳥取環境大学公開講座2011 「情報通信と生活: デジタル化する身近なもの」 (於: 鳥取, 米子)
- ・2011年4月: 電子情報通信学会システム数理と応用研究会委員 (至: 2015年3月)
- ・2010年10月: 電気学会高品質人間活動支援技術共同研究委員会委員 (至: 2012年10月)
- ・2010年1月: 電気学会高品質生活を達成する科学技術に関する協同研究委員会委員 (至: 2010年9月)
- ・2009年12月: 鳥取県産学官コーディネータ連携推進委員 (至: 2012年3月)
- ・2007年3月: 電気学会論文委員 (現在に至る)

Smart Information Systemsの研究



経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻
教授

染谷 治志
SOMEYA, Harushi

SDGs 関連項目



● 研究内容

IT(情報技術)の能力を有効に活用して、私たちの生活をより安全・安心・豊かにする情報システムのデザインをしています。ここで言う情報システムは、必ずしもコンピュータの利用を前提にしません。

【Smart Information Systems】環境のなかのコンピュータの方から人にアクセスを試み、適切な情報を提供したりアドバイスしたりするなど、人の状況を的確に理解して最適な情報環境を提供するシステムのデザイン

【Socio-Information Systems】ダイナミックで複雑な社会の問題に対して、さまざまな要素の繋がりを“システム”として捉え、その構造をモデル化してシステムの挙動を分析・理解し、よりよい社会を実現する改善策や新たなシステムのデザイン

● 想定パートナー

特に定めてない

● 応用分野

【Smart Information Systems】

- ・動き出す・喋りだすパンフレット、見ている人によって表示内容が変わるデジタルサイネージ、スーパーのPOP広告や博物館などの展示説明など
- ・安全に避難所までナビゲートするあなた(観光客)のスマホ
- ・交通ルールやマナーを見張る標識など

【Socio-Information Systems】

- ・ビジネスプロセスへの消費者行動心理の組み込みなどビジネスダイナミックスのデザイン
- ・地域生活情報や観光情報などの地域知を活用する地域情報システムのデザイン